※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１５

令和５年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編 数学Ｂ」（数研　数Ｂ 712）						
副教材等	３ＴＲＩＡＬ　数学Ｂ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

数列，統計的な推測について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数列	第1節　等差数列と等比数列 1　数列と一般項 2　等差数列 3　等差数列の和 4　等比数列 5　等比数列の和	a：等差数列の公差，一般項，和を求められる。また,等比数列の公比，一般項，和を求められる。 b：数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。 c：数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第2節　いろいろな数列 1　和の記号Σ 2　階差数列 3　いろいろな数列の和	a：記号Σの意味と性質を理解し，数列の和が求められる。 b：数列の和を記号Σで表し，和の計算を簡単に行うことができる。 c：f(k＋1)－f(k)を用いる和の求め方に興味をもち，具体的な問題に活用しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第3節　漸化式と数学的帰納法 1　漸化式 2　数学的帰納法	a：初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 b：初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 c：おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について，考察しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

※令和４年度以降入学生用

2学期	第2章　統計的な推測	第1節　確率分布 1　確率変数と確率分布 2　確率変数の期待値と分散 3　確率変数の和と積 4　二項分布 5　正規分布	a：複雑な確率分布の期待値を，確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。 b：確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係がとらえられている。 c：確率変数の期待値，分散に関する種々の公式を，その定義や既知の公式を用いて導こうとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第2節　統計的な推測 1　母集団と標本 2　標本平均の分布 3　推定 4　仮説検定	a：母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 b：母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 c：大数の法則に興味をもち，標本の大きさ n が大きくなるときの分布曲線の変化を，コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
3学期	第3章　数学と社会生活	1　数学を活用した問題解決 2　社会の中にある数学 3　変化をとらえる ～移動平均～ 4　変化をとらえる ～回帰分析～	a：日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するときの手順を理解している。 b：問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し，別の仮定を立てて考察することができる。 c：社会生活における問題について，学んだ方法を積極的に活用し，主体的かつ対話的に問題を解決しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度